

表B

就職に力を入れている大学



ranking	name	place	point
4	立命館大	京都	95
5	法政大	東京	91
6	福井大	福井	87
7	産業能率大	東京	82
8	福岡工業大	福岡	66
9	早稲田大	東京	63
10	中央大	東京	62
11	昭和女子大	東京	58
12	慶應義塾大	東京	53
13	青山学院大	東京	52
14	日本大	東京	51
15	近畿大	大阪	42
17	関西学院大	兵庫	42
18	京都産業大	京都	41
18	専修大	東京	38
18	立教大	東京	38
20	大阪工業大	大阪	37

北海道・東北

ranking	name	point
1	明治大	29
2	金沢工業大	26
3	立命館大	16
4	国際教養大	14
5	法政大	13

関東・甲信越

ranking	name	point
1	明治大	340
2	産業能率大	74
3	法政大	72
4	金沢工業大	71
5	昭和女子大	57

北陸・東海

ranking	name	point
1	金沢工業大	92
2	福井大	68
3	明治大	34
4	中京大	32
5	愛知大	21

近畿

ranking	name	point
1	立命館大	40
2	京都産業大	35
3	大阪工業大	35
4	関西大	29
5	近畿大	28
5	関西学院大	28

中国・四国

ranking	name	point
1	九州工業大	35
2	金沢工業大	25
3	明治大	23
4	高知科大	16
5	広島大	10
5	立命館大	10

九州・沖縄

ranking	name	point
1	九州工業大	79
2	福岡工業大	66
3	九州産業大	17
4	九州大	12
4	明治大	12

無印:私立大学 国:国立大学 国:公立大学

学はなく、中堅から下位校の倍率は高くなる(千葉・公立高)、「指定校推薦や系列大学への進学など、動向のわからない一般入試を避けよう」という意識が受験生・保護者ともに強くなる(京都・私立高)、「2021年の新テスト前年で安全志向、弱気の出願、そして第二志望にこだわらず、現役での進学を考える受験生が増える(鹿児島・私立高)などでした。

なかには「超現役・安全志向になり、母親の安心が最優先の入試になる(広島・私立高)との声もありました。親としては、浪人せずに現役で大学進学してもらおうのがベストです。首都圏の公立高の進路指導教諭は「三者面談でチャレンジ校、実力相応校の受験をもう少し増やしたら」と生徒にアドバイスしたんです。そして、生徒が結果報告に来たら、「なんでこんなにスベリ止めを受けたの」と聞いたら、「先生に受験校を増やしたら」と言われ、母親と相談したら、増やすはずでスベリ止めにしなさいと言われたから」と答えたのです」と言います。知らないところで、チャンスをおさしている可能性もあります。

「現役生はAO・推薦入試受験者が成績中堅から下位層で増加し、仮面浪人生の再チャレンジがかなりの数出ると思う(千葉・公立高)」との意見もありました。仮面浪人とは大学に在学しながら、翌年、再受験する学生のことです。昨年の大学・短大志願者数から入学者数を引いた数は約4・5万人、それが今年のセンター試験の高校卒業者の受験者数は約10・7万人にもなりました。この差である6・2万人が再受験組と見られます。入学した大学にミスマッチを起し、再受験するというわけですが、親はまた学費が必要になり、経済的な負担が大きくなります。こうならないためにも、志望校選びは重要です。

アンケートでは、各項目別に、進路指導教諭にオススメの大学を挙げてもら

表A

面倒見が良い大学



ranking	name	place	point
4	国際教養大	秋田	99
5	明治大	東京	81
6	産業能率大	東京	76
7	九州工業大	福岡	75
7	福岡工業大	福岡	75
9	東京理科大	東京	74
10	東京大	東京	51

無印:私立大学 国:国立大学 国:公立大学

向が顕著になりました。今年の受験生も、来年入試が厳しくなることを予測し、今年中に合格を勝ち取るうとしたのです。今年の入試は国立大、私立大ともに志願者が増えました。国立大は0・9%増え、8年ぶりの増加となりました。国立大は微減でしたが、公立大が3・1%増えました。

一方、私立大は5%も志願者が増え、13年連続志願者増です。18歳人口は減っているため、受験生は併願校を増や

そこで、注目を集める来年入試について、全国の進学校2000校にアンケートを行いました。857校から回答を得ましたが、その中でも来年入試の安全志向を指摘する声が多くなりました。「難関大を目指している生徒で、厳しい生徒は志望校のランクを下げ、安全志向が強まる(宮城・公立高)」、「難易度ランキングは当てにならない、私立大のセンター利用入試で押さえとなる大

ranking	name	place	point
11	国際基督教大	東京	45
12	名古屋商科大	愛知	42
13	大阪大	大阪	41
14	福井大	福井	40
14	岐阜女子大	岐阜	40
16	津田塾大	東京	39
17	秀明大	千葉	36
18	山形大	山形	35
19	立命館大	京都	34
20	昭和女子大	東京	32
20	神奈川工科大	神奈川	32

10月からセンター試験の出願が始まり、11月からは推薦入試が始まり、いよいよ入試シーズンの幕開けです。この時期は受験勉強と同時に志望校選びも本格化します。志望校選びは迷うものですが、そんな時に頼りにしたいのがエキスパートの意見。全国857進学校の進路指導教諭オススメの大学はどこでしょうか。

そこで、今年の入試での現役合格を目指したことになります。難関大の志願者が減り、難易度50未満の大学で激増する結果になりました。来年は今年以上に安全志向になることは間違いなく見られます。共通テスト実施は、共通一次試験が導入された1979年以来の大改革といっていでしょう。共通一次実施前年の入試では、私立大が志願者をもっとも増やしました。今回も私立大入試は志願者が増え、かなり厳しくなりそう。中堅以下の大学の人気

全国857進学校の進路指導教諭が選ぶ
イチ押し
 の大学はここだ!

表H 入学後、生徒の満足度が高い大学

1	東京大	東京	336
2	京都大	京都	219
3	東北大	宮城	207
4	早稲田大	東京	152
5	明治大	東京	138
6	慶應義塾大	東京	115
7	北海道大	北海道	103
8	大阪大	大阪	86
9	国際基督教大	東京	71
10	九州大	福岡	65
11	名古屋大	愛知	61
12	立教大	東京	56
13	青山学院大	東京	53
14	神戸大	兵庫	47
15	筑波大	茨城	46
16	一橋大	東京	38
17	上智大	東京	37
18	西南学院大	福岡	32
19	広島大	広島	31
20	岡山大	岡山	30

表G 小規模だが評価できる大学

1	国際教養大	秋田	283
2	武蔵大	東京	211
3	国際基督教大	東京	145
4	金沢工業大	石川	125
5	会津大	福島	99
6	産業能率大	東京	98
7	公立ほこだて未来大	北海道	67
	都留文科大	山梨	67
9	津田塾大	東京	60
10	成城大	東京	53
11	九州工業大	福岡	52
12	成蹊大	東京	44
13	一橋大	東京	37
	富山県立大	富山	37
	神田外語大	千葉	37
16	福岡工業大	福岡	34
	立命館アジア太平洋大	大分	34
18	京都工芸繊維大	京都	32
19	横浜国立大	神奈川	31
	学習院大	東京	31

表F 改革力が高い大学

1	近畿大	大阪	273
2	東洋大	東京	213
3	東北大	宮城	180
4	早稲田大	東京	163
5	立命館大	京都	162
6	東京大	東京	137
7	京都大	京都	98
8	明治大	東京	79
9	筑波大	茨城	75
	広島大	広島	75
11	佐賀大	佐賀	59
12	関西学院大	兵庫	57
13	法政大	東京	52
14	青山学院大	東京	49
15	千葉大	千葉	43
16	東京工業大	東京	42
	立教大	東京	42
18	桜美林大	東京	36
19	名古屋大	愛知	34
20	新潟大	新潟	30

表E 研究力が高い大学

1	東京大	東京	1,077
2	京都大	京都	1,011
3	東北大	宮城	586
4	東京工業大	東京	249
5	名古屋大	愛知	207
6	大阪大	大阪	204
7	九州大	福岡	182
8	東京理科大	東京	119
9	筑波大	茨城	95
10	北海道大	北海道	67
11	慶應義塾大	東京	47
12	近畿大	大阪	43
13	早稲田大	東京	40
14	広島大	広島	29
15	千葉工業大	千葉	28
16	名城大	愛知	26
17	一橋大	東京	23
18	名古屋工業大	愛知	21
19	山形大	山形	20
20	芝浦工業大	東京	19

表D グローバル教育に力を入れている大学

1	国際教養大	秋田	759
2	国際基督教大	東京	421
3	上智大	東京	332
4	立命館アジア太平洋大	大分	321
5	早稲田大	東京	160
6	立命館大	京都	114
7	東京外国語大	東京	107
8	立教大	東京	98
9	東京大	東京	96
10	神田外語大	千葉	77
	関西学院大	兵庫	77
12	同志社大	京都	69
13	東北大	宮城	63
14	千葉大	千葉	58
15	関西外国語大	大阪	51
16	京都大	京都	49
17	名古屋外国語大	愛知	48
18	広島大	広島	46
19	東洋大	東京	44
20	南山大	愛知	41

表C 教育力が高い大学

1	東京大	東京	664
2	京都大	京都	451
3	東北大	宮城	404
4	国際教養大	秋田	155
5	大阪大	大阪	137
	国際基督教大	東京	137
7	名古屋大	愛知	122
8	東京理科大	東京	116
9	東京工業大	東京	98
10	九州大	福岡	95
11	北海道大	北海道	91
12	早稲田大	東京	76
13	広島大	広島	72
	慶應義塾大	東京	72
15	筑波大	茨城	63
16	金沢工業大	石川	53
17	九州工業大	福岡	39
18	岡山大	岡山	34
19	一橋大	東京	31
	上智大	東京	31

無印:私立大学 ■:国立大学 □:公立大学

表Dの「グローバル教育に力を入れている大学」のトップは、調査開始以来10年連続で国際教養大です。「面倒見が良い大学」と「教育力が高い大学」で

100)が高い大学も多くなっています。卒業生数1000人以上でトップの金沢工業大が2位、3位の大阪工業大は20位、4位で9年連続女子大トップの昭和女子大が11位、5位の国公立大11年連続トップの福井大が6位に入っています。この高い就職率は、進路指導教諭の評価を大きく変える要素のひとつです。10年前の「就職に力を入れている大学」の評価では、福井大は157位、昭和女子大は99位で、そこからの躍進です。就職支援力に対する評価を地域別に見ると、北海道・東北と関東・甲信越は明治大、北陸・東海は金沢工業大、近畿は立命館大、中国・四国と九州・沖縄は九州工業大がトップでした。

表Cの「教育力が高い大学」のトップは13年連続で東大です。2位は京大3位は東北大で、旧7帝大がトップ3を独占しました。進路指導教諭の東大への評価は「国際的にみても、競争力のある教員、設備、学習環境が充実している」(神奈川・私立高)、「優秀な学生の向学心を満足させるような教育内容で進路指導した生徒の満足度も高い」(静岡・私立高)、「研究費が多く、教員と学生の質が高く、互いの刺激になっているから」(愛知・公立高)などです。4位は公立大トップの国際教養大、5位は大阪大と私立大トップの国際基督教大でした。

表Fは「改革力が高い大学」です。トップは4年連続で近畿大。一般入試志願者数が6年連続日本1の人気大学です。インフラ整備に力を入れ、校舎の

とともに4位、「小規模だが評価できる大学」で1位とさまざまな項目で評価が高くなっています。国際教養学部のみの単科大で、授業はすべて英語で行われ、1年間の留学が必須です。1年次は全学生が外国人留学生と寮生活を送ります。5年で卒業する学生も多いのですが、就職実績は抜群です。合格者の高校を見ても、トップの3人合格校は、地元秋田の高校を除くと、岩手の盛岡第三、千葉の市川と昭和学院秀英、東京の東京学芸大付、神奈川の聖光学院、大阪の茨木と全国から集まっています。2位は国際基督教大、3位は上智大、4位は日本人学生と留学生が半数ずつの立命館アジア太平洋大、5位が早稲田大でした。上位は国際系の学部を設置している大学が目立ちます。

表Eは「研究力が高い大学」です。トップは5年連続で東大です。2位は京大で、この2校が突出して評価されています。3位は東北大で、「教育力が高い大学」と同じ顔ぶれになりました。進路指導教諭の考えには、大学にとって研究と教育が、車では両輪との考えが強くなっています。研究に優れている大学は、教育の評価も高くなっています。以下、東京工業大、名古屋大、大阪大、九州大の順で、国公立大が上位です。私立大トップは8位の東京理科大でした。

「最近高校の先生に勧められて進学してくる学生が増えています。先生から「あそこはしっかり学ばせてくれる大学だから、進学して鍛え直してもらいなさい。宿題もあって必ず大学の教員が目を通し、学習指導にも力を入れ、就職でも一流企業に入社できるから」と言われて来たという学生もいます。大学教員が目光らせていることが、学生、保護者に安心感をもたらしているようです。」

他にも「学生アバートの皆さんにまで配慮がなされている」(石川・私立高)という意見がありました。志鷹さんに

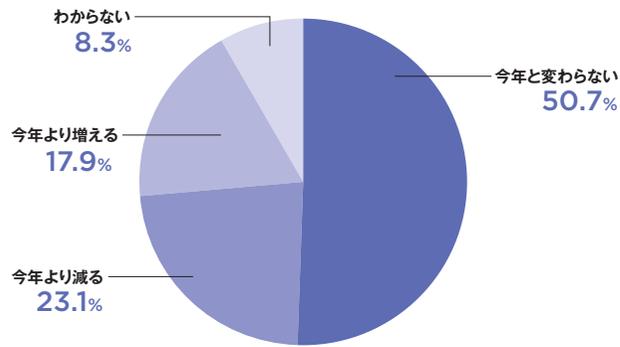
説明してもらいました。「75%が県外生ですので、大学周辺に5千人ぐらい住んでいます。大学と提携しているアバートをK-1T指定生寮と呼んでいます。金沢工大の学生しかいない、大家さんが近くに住んでいるという条件のアバートです。授業を連続して休んでいる学生とかの事情を聞いてもらったり、病気の時は大家さんが看病したりと、いろいろな面倒を見ているところが評価されているでしょう。」

2位は東北大、3位は武蔵大、4位は国際教養大、5位は明治大の順でした。3位の武蔵大は「ゼミの武蔵」といわれるほど、ゼミナール形式の授業が有名です。このゼミナールは少人数教育で、今という双方向で授業を進めるアクティブ・ラーニングにあたります。武蔵大は昔から実践しており4年間必修です。進路指導教諭の評価もゼミと少人数教育について多いのが特徴です。

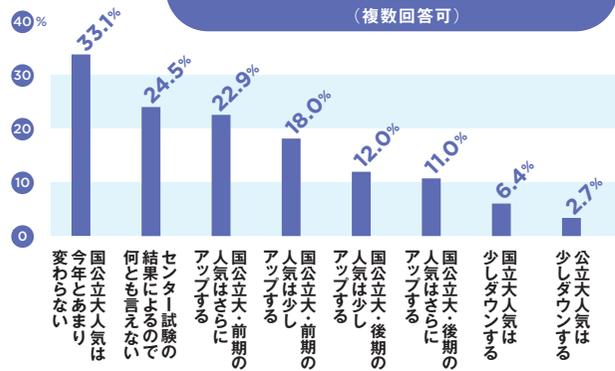
次に表Bの「就職に力を入れている大学」を見てみましょう。トップは10年連続で明治大。学生の就活サポートに力を入れ、有名企業に強いことで知られています。今年の就職先企業を見ますと、日本郵政グループ39人、みずほFG35人、富士通31人、大和証券グループ本社、リソナホールディングス各30人、NEC28人、凸版印刷27人などとなっています。次いで金沢工業大、九州工業大、立命館大、法政大、福井大の順でした。

ランキングには実就職率(就職者数÷(卒業生数-大学院進学者数)×

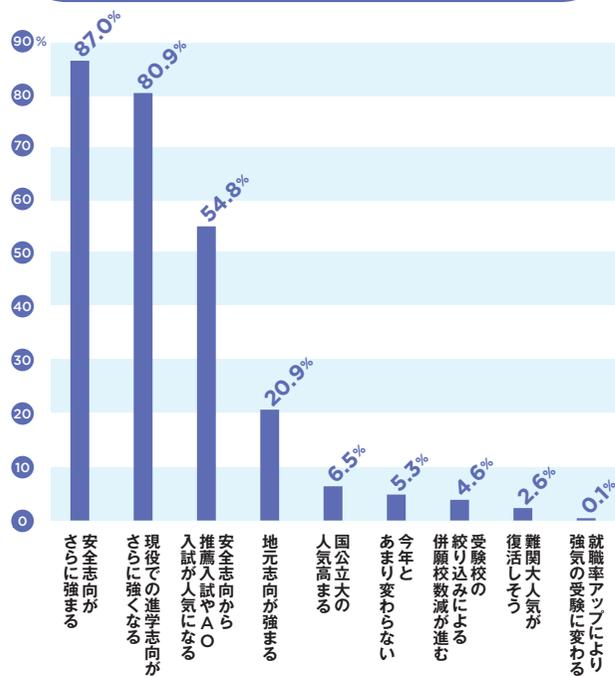
グラフ1 来年のセンター試験志願者数はどうなるとお考えですか？



グラフ2 来年の国公立大人気はどうなるとお考えですか？(複数回答可)



グラフ3 近年、「現役志向」「安全志向」「地元志向」の大学選びが強まっていますが、この傾向は来年はどうなるとお考えでしょうか？(複数回答可)



表K 生徒に人気がある大学

1	早稲田大	東京	467
2	明治大	東京	461
3	青山学院大	東京	286
4	立教大	東京	285
5	慶應義塾大	東京	182
6	京都大	京都	180
7	法政大	東京	168
8	東北大	宮城	166
9	神戸大	兵庫	156
10	東洋大	東京	137
11	名古屋大	愛知	134
12	同志社大	京都	131
13	東京大	東京	129
14	大阪大	大阪	126
15	関西大	大阪	120
16	九州大	福岡	110
17	上智大	東京	105
18	立命館大	京都	105
19	近畿大	大阪	95
20	筑波大	茨城	86
	千葉大	千葉	86

表J-2 生徒に勧めたい私立大学

1	早稲田大	東京	809
2	慶應義塾大	東京	799
3	国際基督教大	東京	271
4	上智大	東京	250
5	東京理科大	東京	221
6	明治大	東京	203
7	同志社大	京都	199
8	立教大	東京	92
	立命館アジア太平洋大	大分	92
10	立命館大	京都	82
11	金沢工業大	石川	80
12	中央大	東京	68
13	青山学院大	東京	55
14	関西学院大	兵庫	52
15	関西大	大阪	42
16	西南学院大	福岡	37
17	近畿大	大阪	33
18	東洋大	東京	29
19	法政大	東京	28
20	南山大	愛知	24

表J-1 生徒に勧めたい国公立大学

1	東京大	東京	1,026
2	京都大	京都	919
3	東北大	宮城	648
4	北海道大	北海道	252
5	東京工業大	東京	244
6	大阪大	大阪	241
7	国際教養大	秋田	217
8	九州大	福岡	194
9	名古屋大	愛知	193
10	一橋大	東京	163
11	筑波大	茨城	106
12	神戸大	兵庫	94
13	広島大	広島	65
14	千葉大	千葉	47
15	金沢大	石川	43
16	九州工業大	福岡	38
17	山形大	山形	34
18	静岡大	静岡	30
19	東京外国語大	東京	29
20	京都工芸繊維大	京都	28

表I 入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

1	東北大	宮城	287
2	東京大	東京	198
3	金沢工業大	石川	182
4	東京理科大	東京	177
5	京都大	京都	109
6	国際基督教大	東京	92
7	北海道大	北海道	57
8	明治大	東京	54
9	産業能率大	東京	53
10	国際教養大	秋田	51
11	筑波大	茨城	43
12	大阪大	大阪	42
13	武蔵大	東京	39
14	九州大	福岡	34
15	九州工業大	福岡	32
16	上智大	東京	31
17	名古屋大	愛知	29
	早稲田大	東京	29
19	中央大	東京	28
20	慶應義塾大	東京	27
	津田塾大	東京	27
	立教大	東京	27

無印:私立大学 ■:国立大学 □:公立大学

のが「今年と変わらない」50.7%、次に「今年より減る」23.1%で、来年のセンター試験志願者は今年並みに落ち着きそうです。来年はさらに受験生数が減ると見られており、自然減での減少もあるのかもしれませんが。

グラフ2は「国公立大人気」についてです。「今年とあまり変わらない」33.1%、「センター試験の結果によるので何とも言えない」24.5%、「前期の人氣はさらにアップする」22.9%となりました。センター試験の総合得点の平均で人氣が決まる面もあります。平均点がアップすると志願者は増え、下が

ると志願者が減るという図式です。今年は昨年より文系、理系とも平均点がアップし、8年ぶりに志願者が増えました。

グラフ3は最近の受験生の動向について聞いています。「現役志向」「安全志向」「地元志向」が強まっていますが、この傾向が来年も続くのかを聞きました。「安全志向がさらに強まる」87%、「現役での進学志向がさらに強くなる」80.9%、「安全志向から推薦入試やAO入試が人気になる」54.8%となりました。昨年よりいずれもポイントが高くなっています。センター試験最後という

表Iは「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」です。トップは東北大、2位は東大で、3位は金沢工業大、4位は東京理科大、5位は京大でした。東北大は「面倒見が良い大学」、2位は「教育力が高い大学」「研究力が高い大学」「改革力が高い大学」「入学後、生徒の満足度が高い大学」がいずれも3位と、評価

が高くなる大学です。予備校関係者は「関東の国立の難関総合大学となると、東大の次は東北大になることもあって、首都圏でも人氣が高いこともあるのでは」と話しています。

表Jは「偏差値や地理的、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい大学」です。表J-1は国公立大についてのもので、トップは5年連続で東大、次いで京大、3位が東北大でした。トップ10には旧7帝大7校と東京工業大、一橋大、公立の国際教養大が入りました。難易度の高い大学が上位に来ていることが分かります。その次に難関大の筑波大、神戸大、広島大、千葉大が続きます。

一方、表J-2の私立大のトップは早稲田大、2位が僅差で慶應義塾大で、この2校が3位以下に大差をつけました。以下、国際基督教大、上智大、東京理科大、明治大の順。やはり難易度が高い大学が上位に来ています。

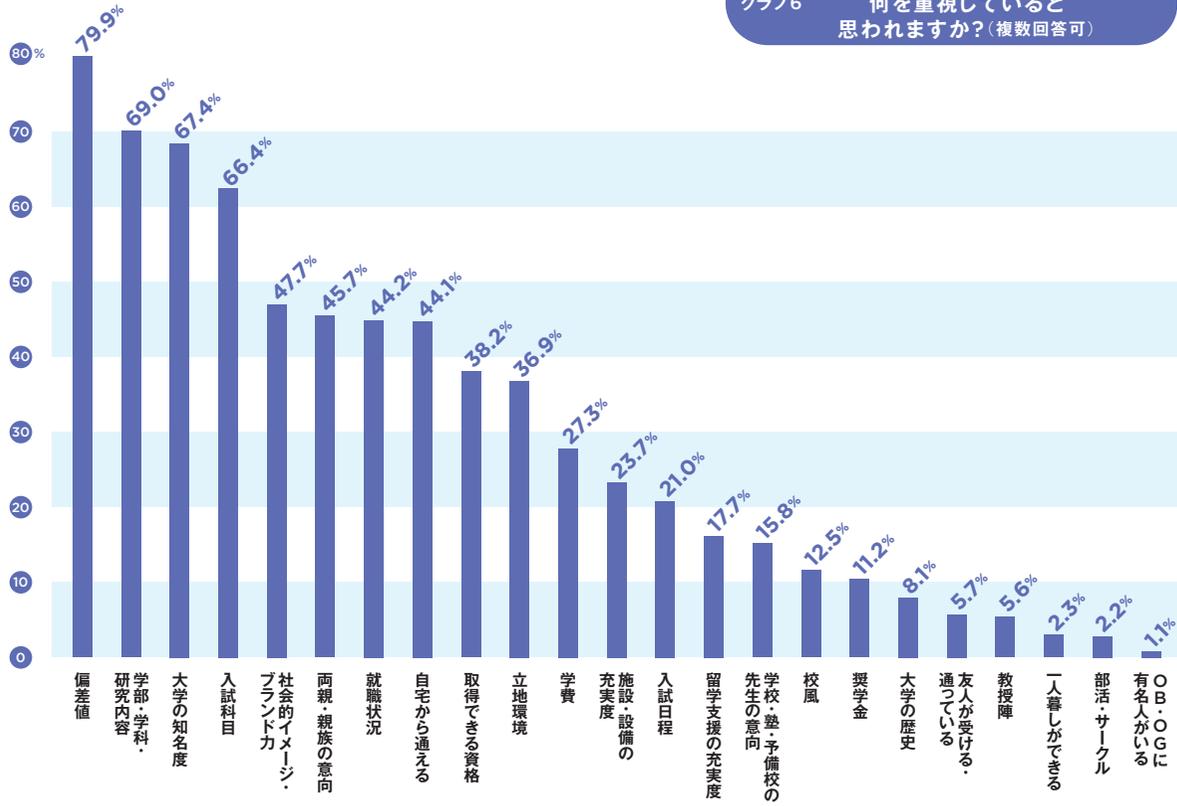
表Kは「生徒に人気のある大学」です。トップは2年連続で早稲田大で、2位は僅差で明治大でした。以下、青山学院大、立教大、慶應義塾大の順で、首都圏の有名私立総合大が上位を独占しました。国公立大トップは6位の京大です。国公立大は例年、人氣が変わり、昨年トップは今年8位の東北大でした。次にグラフを見ていきましょう。まず初めに来年入試の動向についてです。今年1%志願者が減ったセンター試験の志願者が、来年どうなるかについてです(グラフ1参照)。もっとも多かった

表Gは「小規模だが評価できる大学」です。トップは国際教養大、次いで武蔵大、国際基督教大、金沢工業大、会津大、産業能率大の順となりました。トップ3はいずれも文系の小規模大学です。学生と教員の距離が近く、特色ある教育で高い評価を得ています。

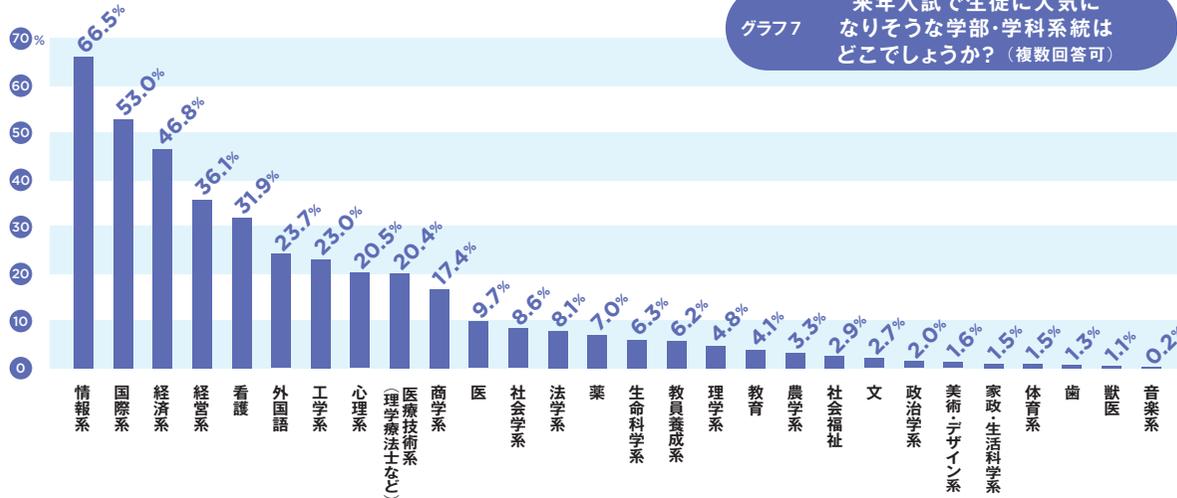
表Hは「入学後、生徒の満足度が高い大学」です。トップは東大、2位が京大、3位が東北大、4位が早稲田大、5位が明治大でした。毎年このことですが、難易度の高い大学が上位を占めます。難関を突破したことで満足度も上がり、第一志望の受験生が多いことも影響しています。

表J-1は「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」です。トップは東北大、2位は東大で、3位は金沢工業大、4位は東京理科大、5位は京大でした。東北大は「面倒見が良い大学」、2位は「教育力が高い大学」「研究力が高い大学」「改革力が高い大学」「入学後、生徒の満足度が高い大学」がいずれも3位と、評価

受験生は志望校を選ぶ際に、何を重視していると思われるか？(複数回答可)
グラフ6

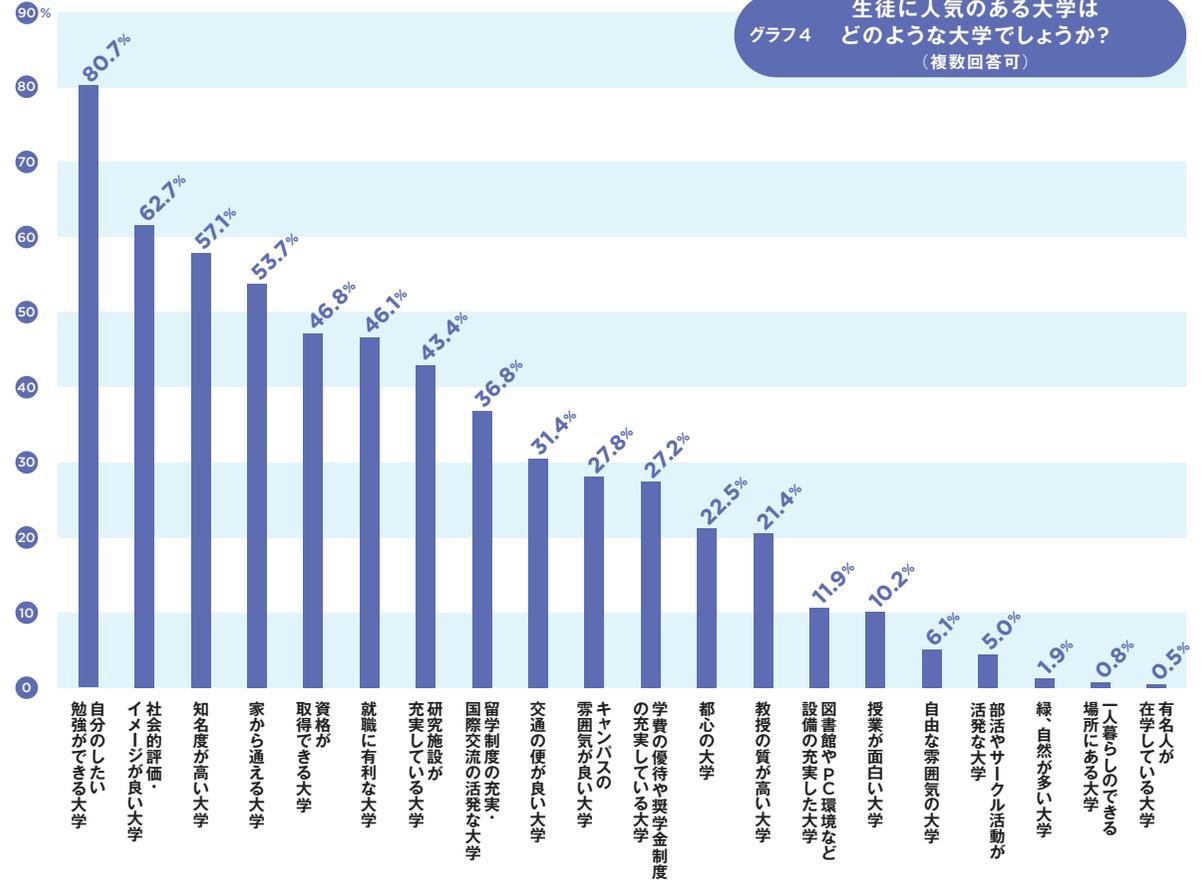


来年入試で生徒に人気になりそうな学部・学科系統はどこでしょうか？(複数回答可)
グラフ7

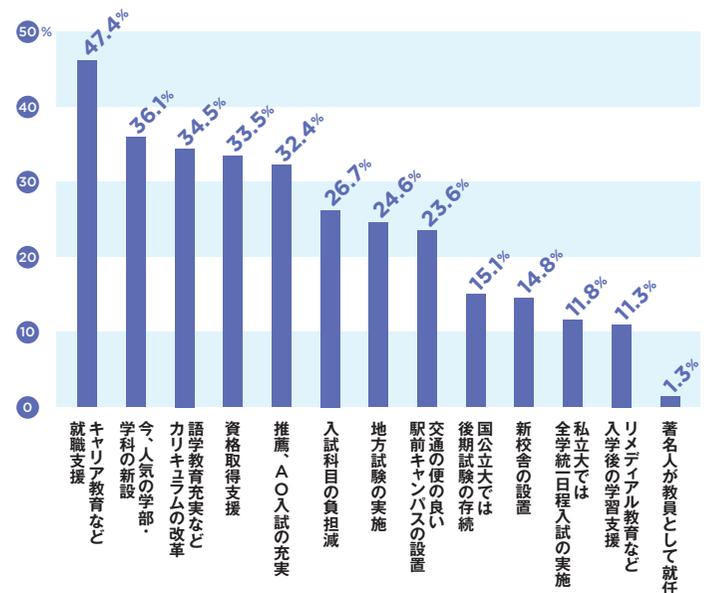


高くなっています。
グラフ6は「受験生は志望校を選ぶ際に、何を重視しているか」です。トップは「偏差値」で79.9%です。2位が「学部・学科・研究内容」の69.0%、3位が「大学の知名度」67.4%、4位が「入試科目」66.4%と続きました。ここまでが6割を超え、それ以下は5割を切っています。やはり、入試絡みのことを気にしていることが分かります。
最後はグラフ7の「来年入試で人気になりそうな学部」についてです。トップは情報系で66.5%。今年の入試で国公私立大とも、もっとも志願者が増えた系統です。昨年の5位から1位に躍進しました。AI、ビッグデータなど、データサイエンティストが不足していると言われる中で、志願者が増えています。2位は国際系、以下、経済系、経営系、看護、外国語の順でした。今年は「文高理低」の学部人気は崩れましたが、まだまだ文系学部の人気は根強いことが分かります。
来年入試は超安全志向の入試になることは確実と見られています。こういった時こそ、強気な受験を心がけてほしいものです。ランクを下げて受けたとしても、志願者が殺到して合格できるかどうかはつきりしないことになりかねないからです。大学の評価は難易度や就職だけで決まるものではありません。いろいろな視点から検討することが大切です。エキスパートの評価を参考にしながら、「入れる大学選び」ではなく、「入りたい大学選び」を心がけましょう。

生徒に人気のある大学はどのような大学でしょうか？(複数回答可)
グラフ4



大学は改革を実施し、受験生に魅力をアピールしようとしています。こういった改革が受験生に受け入れられているのでしょうか？(複数回答可)
グラフ5



こともあり、浪人できないと考える受験生によって、現役での大学進学志向が、よりいっそう強まりそうです。
グラフ4は「生徒に人気のある大学」です。「自分のしたい勉強ができる大学」が80.7%で9年連続トップでした。次いで「社会的評価・イメージが良い大学」62.7%、「知名度が高い大学」57.1%、「家から通える大学」53.7%の順。ここまでが5割を超えました。受験生はこの4つの要素で大学を選んで見られます。大学生の実就職率が約9割と高いこともあり、「資格が取得できる大学」「就職に有利な大学」は5割を切りました。就職よりも自宅から通える大学を選ぶ受験生が多いということとです。
次にグラフ5の「受験生に受け入れられる改革」について見いきましょう。トップは「キャリア教育など就職支援」で47.4%、2位は「今、人気の学部・学科の新設」で36.1%、「語学教育充実などカリキュラムの改革」が34.5%でした。就職サポートへの期待はまだまだ